



伝統構法  
に学ぶ

# 住まい 涼木

その4

文・荒野一星

大卒後、就職。家を出て以来50年。2年前に八戸の生家を再生しようと決意した井手良治さん。再生なった一昨年12月、半世紀ぶりに我が家への帰還を果たした。再生後の井手家で1年を過ごした良治さんに、その住み心地を話していただいた。(第5回夢木香セミナー「四季を感じる住まい方講座」2010・12・5)

「木・土・紙の自然素材で出来た家は、家全体が温度・湿度を調節しながら、寒暖差を包み込むように和らげてくれる。その厚さ20cmの土壁が温もりをじわーっと吸収して、夜になるとじわーっと放出してくれる。風呂場や廊下のガラス戸も結露しませんし、冬も炬燵ひとつで過ごせます。夏の猛暑時には、何度かクーラーも点けましたが、ほとんど扇風機だけで過ごせてしまう。4cm厚の杉板の廊下は、夏はひんやり感、冬は逆に、素足で歩いてても温もりを感じる。」

木は伐採後も、フィトンチッドという蘇生物質を放出しているそうです。



## おさまりの良さ

「木・土・紙の自然素材が、その意味では、24時間見事におさまっている。柱や梁だけじゃなく、床板、壁板に至るまで、古材、新材と混ぜて、ひびきが出るように、湿度見ても飽きない。我が家ながら、凄いいね! 漆喰壁の白さも堪能しています。朝日、夕日、満月、新月:その度に外に出る固さ:」

「木・土・紙の自然素材で出来た家は、家全体が温度・湿度を調節しながら、寒暖差を包み込むように和らげてくれる。その厚さ20cmの土壁が温もりをじわーっと吸収して、夜になるとじわーっと放出してくれる。風呂場や廊下のガラス戸も結露しませんし、冬も炬燵ひとつで過ごせます。夏の猛暑時には、何度かクーラーも点けましたが、ほとんど扇風機だけで過ごせてしまう。4cm厚の杉板の廊下は、夏はひんやり感、冬は逆に、素足で歩いてても温もりを感じる。」

「木・土・紙の自然素材で出来た家は、家全体が温度・湿度を調節しながら、寒暖差を包み込むように和らげてくれる。その厚さ20cmの土壁が温もりをじわーっと吸収して、夜になるとじわーっと放出してくれる。風呂場や廊下のガラス戸も結露しませんし、冬も炬燵ひとつで過ごせます。夏の猛暑時には、何度かクーラーも点けましたが、ほとんど扇風機だけで過ごせてしまう。4cm厚の杉板の廊下は、夏はひんやり感、冬は逆に、素足で歩いてても温もりを感じる。」

※マツリ「真釣り」||「調和する」こと。天と地、人と自然との自分(先祖・子孫)とヨコの自分(兄弟姉妹・人類・動植物)を「真に釣り合わせる」こと。日本人の原点とも言える観性。

良治さんの笑顔に「マツリ」を観た。再生された井手家は、作り手、住み手、近所の人々、見学に訪れる人々:すべて「マツリ」あい、見事におさまっている。

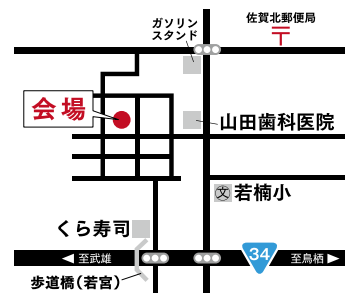
### 第8回 夢木香セミナー 壁塗り体験会

日時:平成23年4月17日(日)  
10:00~17:00

場所:佐賀市若楠

会場は1月に構造見学会を実施した若楠の家。汚れてもいい服装、軍手持参でお出かけください。壁塗りの楽しさを堪能していただけます。

- 参加費無料。
- お問い合わせとお申し込みは 夢木香までお願いいたします。



## 有限会社 夢木香

日本民家再生協会正会員  
佐賀県鹿島市大字三河内甲 2847  
http://www.yumekikou-happy.com  
TEL:0120-835-832  
TEL:0954-69-8333 FAX:0954-69-8334  
E-mail:yumekikou@globe.ocn.ne.jp